

# 香南市総合防災訓練



参加者総数  
5,476人

助け合いが  
人の命を守り  
地域を守る



地域の防災力高まる  
自主防災組織や自治会を  
対象に、8月31日(日)午前8  
時55分、南海地震が発生した  
との想定で、市総合防災訓練  
を行いました。

訓練開始となる午前9時  
には、サイレンや防災無線を  
使って避難指示を発令し、全  
215カ所の避難場所へ避難。消  
防団などを含めた訓練参加  
者数は、昨年より千人ほど多  
い約5千5百人で県内一の  
参加者数となりました。自主  
防災組織数も61組織から71  
組織へと増えており、地域の  
防災力が年々高まっています。



▲避難場所では名前を書いて  
▲倒壊家屋から救助したら、  
応急手当をして



▲非常持ち出し袋の中身は  
何かな？消防署員の説明を  
真剣に聞く児童たち

真剣なまなざしで

訓練に取り組む

今年の主会場岸本小学校  
となった香我美町岸本地区。  
サイレンとともに続々と  
避難する人の中には、津波に  
さらわれないようにとロー  
プでつなぎ合って避難する  
など工夫する姿もありました。

平成22年度末に移駐予定の  
第50普通科連隊が、炊飯車で  
お米を炊き、女性防火クラブ  
がおにぎりをつくりました。  
非常食の訓練としてつくら  
れたこのおにぎりは、給食で  
児童たちに配られました。



▲自衛隊は、「ファイバース  
コープ」を使って救助者を  
捜索  
▲炊飯車は、約250人分の主  
食と副食を45分以内で調理  
できます

この日を登校日にした岸  
本小学校児童や教員も訓練  
に参加し、初期消火訓練や、  
心肺蘇生法などを体験。また、



▲5・6年生の心肺蘇生法講習会

## 未組織地域解消へ全力！

今回の訓練は、自主防災組織以外にも未組織の自治会へチ  
ラシ配布やケーブルテレビなどで参加を呼びかけました。  
未組織地区からも多くの参加があり、一人一人の防災意識  
は高まっています。しかし、自主防災組織の結成率は65%と  
まだまだ低いのが現実で、未組織地区解消に向け全力で取  
り組む必要があります。

## 補助金を活用し、自主防災組織をつくろう

近い将来必ず起こるとされる南海地震への備えは、まず  
自主防災組織を結成し、地区住民が自分たちで避難場所を  
決め、自治会への未加入者を含めた地域ぐるみの助け合い  
を行うことが大切です。隣近所のつながりをより強くし、地  
域の和を広げ団結する力をつけることが必要です。

組織結成時には、市の補助金が活用できますので、早期の  
結成をお願いいたします。

【問い合わせ】

防災対策課 ☎ 57-8501

## 地震の揺れで割れたガラスから 子どもたちを守ろう！

市内の各保育所・幼稚園では、突然の地  
震や事故などで割れたガラスの破片で子  
どもたちが「けが」をしないように、ガラス  
へ飛散防止フィルムをはる作業をしてい  
ます。8月16日(土)野市保育所では、保護  
者と保育士が力を合わせて窓ガラスにフィ  
ルムをはりました。



▲バケツリレーによる消火訓練は、  
赤岡町の松ヶ瀬コミュニティー  
避難広場へ避難した西部自主防  
災会の訓練。子どもたちも一緒  
に参加しました

自主防災組織ごとに行われ、  
防災資機材の点検や炊き出  
し訓練、応急手当の講習会な  
どが実施され、自主的な活動  
がみられました。